

結 果 の 考 察（R5、7月）

<保護者アンケートより>

- ・最も評価の高かった項目は、前回7月と同様に「児童のいろいろな行事への取組」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の方は99.0%（昨年度99.0%）でした。評価の高かった要因としましては、新型コロナウイルス感染症がある中でできることを考えながら全ての行事等を実施できたことや、子供たちが各行事等に一生懸命取り組んでいる姿をご覧いただけたこと、そして、保護者の方々にご理解とご協力を得ることができたためと考えます。
- ・最も評価の低かった項目は、前回の7月と同様に「児童の読書活動への取組」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方は72.0%（昨年12月72.0%）でした。学校では朝の読書活動や休み時間の図書室の利用、図書委員会による本の紹介などで、読書活動の奨励に力を注いでいます。また、図書室の先生による本に興味をもてるようなイベントを行い、読書活動の奨励に努めています。学校では今後も、色々な工夫をしていきたいと考えております。ご家庭においても本に接する機会を増やしていただければ幸いです。
- ・次に評価が低かった項目は、「英語学習への取組」です。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方は78.0%でした。（昨年12月79%）中学校へのスムーズなスタートのためにも、英語学習への取組が大切になってきます。現在ALTの先生を配置し、2人の教員で授業にあたっていますので、今後も児童の反応をみながら、知識の定着が図れるようにしていきたいと思います。
- ・記述欄には学校の取組に対してのご理解と賞賛を多数いただきありがとうございます。しかし、一方で、「行事の日程等（授業参観、面談等）について、あいさつについて、登下校について、プール学習について、熱中症対策について、上履きについて、等」様々なものがありました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の課題として改善に向けて学校で協議していきたいと思います。

<児童アンケートより>

- ・全体的に高評価でした。その中でも最も高かったのは「先生は分かりやすく勉強を教えてくれる」の項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ98%でした。今年度、教員の校内研修において、学力診断テストの分析をもとに、国語科について研究を進めています。特に、根拠を明確に自分の意見をもつことや、読み物資料の読解力について研究を進めています。その成果として、教員がICT機器をいろいろな場面で活用し、子供たちの興味・関心を高めつつ、分かりやすい授業を心がけたことに要因があると考えられます。
- ・次に評価が高かった項目は、「いろいろな学校行事に一生懸命取り組んでいる」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ96%でした。1学期は、宿泊学習、運動会など大きな行事がたくさんありました。コロナ感染症への対応が落ち着いて

きたことで以前のように行事が復活してきており、取組への意欲が高まっていると考えられます。

- ・最も評価が低かった項目は、命を大切にする心や社会のルールを守る態度、郷土を愛する心を育む教育についてです。「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせて昨年度 12 月では 97%でしたが、今年度 7 月では 71%でした。夏休みに道德コーナーの充実を図ったり、道德に関する情報を、推進教師が発信したりしています。今後も特別活動や道德を大事に行っていきたいと思います。
- ・次に評価の低かった項目は、「家庭学習を自主的に行っている」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は 83%でした。昨年度 12 月では 88%でした。クラスルームやナビマなども活用しながら、家庭学習の充実に努めていきたいと思います。

<職員アンケートより>

- ・最も評価が高かった項目は、「興味や意欲を高める授業づくり」についてです。今年度鹿嶋市の授業改善プロジェクトで国語を研究しています。本校でも、国語の読解力について研修を行っており、興味関心が高まるよう意識しながら授業を進めていますので、継続していきたいと思います。
- ・次に評価が高かった項目は、「あいさつやマナーの指導」でした。あいさつは子どもの元気のバロメーターです。そのため、学校では、あいさつの指導を全教職員で進めております。保護者の方より「あいさつができない子がいる」というご指摘も受けております。学校では、子どもたちが充実した学校生活を送りながら、大きな「あいさつ」ができるように支援していきたいと思います。ご家庭におかれましても、お声かけをよろしくお願いいたします。

「いじめのない学級づくり」では、教職員が、常に子供たちの様子に気をはらい、安心できる学級づくりと呼び掛けています。子供たちの心の居場所をつくること、そして、自己存在感、共感的人間関係を育成していくことを意識して学級づくりに取り組むことを学校全体で進めております。今後も、子供たちに寄り添った指導ができるように心がけていきたいと思います。

- ・一方、最も評価が低かった項目は、「英語に興味をもち、楽しく学習に取りくんでいる。」で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している教員が 73%でした。高学年になるほど、苦手意識をもつ傾向があるので、中学校へのスムーズな接続のためにも、充実した授業を行えるようにしていきたいと思います。
- ・次に評価が低かった項目は、「家庭での自主学習への取組」でした。保護者、児童ともに前回も低評価になっており、学校の重点課題です。引き続き、子供たちへの声かけとともに、宿題や課題等について充実させていきたいと思います。